

## 要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2-エトキシエチルアセタートのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性  
毒性試験

試験番号 No. 2001-生46

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 2-エトキシエチルアセアート
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区, 10, 18, 32, 56, 100 mg/L

公比 ; 1.8

- 6) 試験液量： 3 L/容器
- 7) 連数： 1 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10 尾/濃度区
- 9) 試験温度：  $24 \pm 1$  °C
- 10) 照明： 16 時間明/8 時間暗
- 11) 分析法： ガスクロマトグラフ法

### 結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：試験区において設定濃度に対して分析結果が $\pm 20\%$ 以内であり、以下の値は設定濃度値を基に示した。
- 2) 96 時間の半数致死濃度 (LC50)： 42.3 mg/L (95%信頼区間： 32.1 ~ 55.8 mg/L)